



## 第11回学術大会を終えて

大会長 海老原 直邦

東日本大震災と原発事故から半年以上が過ぎました。被災された音楽療法学会員の方の体験談を学術大会期間中にお聞きする機会があり、大会プログラムにおいても、音楽による被災者支援を考える自主シンポジウムが開かれました。被災された方々の心情は、非体験者の想像力ではなかなか理解の及ばないことかもしれませんが、改めて被災者の方々に心からのお見舞いを申し上げ、困難な状況からの一刻も早い回復と復興をお祈り申し上げたいと思います。

さて、第11回日本音楽療法学会学術大会は、2011年9月9日の講習会に続いて、10日、11日と富山市中心部の5箇所（交流会場を含む）の施設を利用して開催されました。これまでになく会場数が多いことを考慮して、誘導案内係員を多めに配置しました。ご参加の皆様には、青いポロシャツ姿の係員を頼りにしていただけましたでしょうか。富山県との共催となった9月10日の学術大会開会行事（兼県民講座）は、他の会場とはやや離れた場所にある富山市芸術文化ホールで行うことになり、参加者の皆様には暑さの中の移動で、ご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。ただ、幸いにも好天には恵まれ、主催者側としてはひと安心したことでした。

日本海側では初めての大会でもあり、参加者数のことを心配しましたが、結果的には学術大会参加登録者が約1500名、県民講座の一般参加者を含めて、3日間で延べ約5300名の方に参加していただきました。開会行事では、日野原重明理事長の100歳を記念する講演が行われたこともあり、800人を超す一般市民が参加し、音楽療法学会員を合わせ2000人を超す聴衆で、会場の芸術文化ホールが満杯となりました。日野原先生の100歳奉祝記念講演として相応しい盛況となり、主催者としても喜ばしい限りでした。

研究発表プログラムでは多くの口演発表とポスター発表があり、活発な質疑が展開して、会員間の積極的な「相互啓発」がなされていたように思います。大会テーマ『音楽療法の可能性と未来～「こころ」「からだ」「社会」の視点から』にもこだわりつつ、講習会や大会シンポジウムのテーマ設定、講演会やワークショップの講師招聘にも配慮しました。種々多様なプログラムではありましたが、音楽と人が関わる深い部分で、それぞれに大会テーマと通底するものがあつたよう

に思います。また、音楽の多く流れる空間を演出しようと、休憩時間に会場ロビー等で「街なかコンサート」を開くなどの工夫をいたしました。富山の伝統芸能で奏される胡弓の音色などをお楽しみいただけたかと思います。

交流会には招待者を含め400名を超す参加者があり、世話係も嬉しい悲鳴をあげていました。富山古楽合奏団によるヴィオラ・ダ・ガンバの演奏も大好評でした。日野原先生に誕生ケーキのろうそくを吹き消していただくというサプライズもあり、特別講演講師タウト博士に100歳奉祝のスピーチをお願いするなど、楽しく賑やかな時間を共有できました。

特に大きな事故もなく、今大会をスムーズにそして成功裡に終わることができましたのは、約2年間に及ぶ準備段階でご尽力下さった大会実行委員、大会期間中にご支援下さった信越北陸地区の音楽療法学会員、非学会員のボランティア、大会開催のすべての面でお世話になった学会本部事務局長はじめ事務局員の方々ほか、沢山の皆様のご協力のおかげだと思います。すべての関係者の皆様に対して、この紙面をお借りして、心からの感謝を申し上げます。

大会スタッフの気付かないところで、大会参加者の皆様にご不自由をおかけし、また、行き届かない面も多々あったかと思いますが、どうぞご容赦下さい。日本音楽療法学会と全国各地の音楽療法活動がますます発展することを祈りして、第11回学術大会のご報告を終わらせていただきます。また来年、南国宮崎で開催される第12回学術大会にてお会いしましょう！



(タウト博士)

## 第12回日本音楽療法学会学術大会に向けて —第一次案内—

実行委員長 山下 恵子

富山での学会も大盛會に終わり、来年の第12回日本音楽療法学会学術大会～宮崎大会～のお知らせをする時期になりました。第12回大会は、学会本部主催により宮崎市での開催となりました。宮崎県は2010年度、口蹄疫・新燃岳噴火という大きな被害を受けました。そんな折、学会理事会より宮崎県での開催ができないかのご依頼がありました。お話をお聞きする中で、宮崎県において学術大会が開催されることで、近隣の学会員の皆様のお役に立て、そして少しでも口蹄疫からの復興に役立てるかもしれないと思いました。幸い、学校法人宮崎学園様（大坪久泰理事長）と宮崎音楽療法研究会様（日高まり子会長）のご理解を得て、ご助力を頂戴できることになりました。このうちは、九州・沖縄支部の会員の方々にも協力を頂きながら本大会を運営できればと思っております。微力ではございますが、開催県として精一杯の準備をさせていただきたいと思っております。

南国宮崎の眩いばかりの太陽と青い海、そして輝く星空のもとで、温かい交流と熱い議論が繰り広げられますことを心より願っております。

下記の日程と内容で現在準備を進めて参ります。関係者一同、たくさんの方々のお越しを心よりお待ち申し上げます。

- ◇ ◇ ◇ ◇
- ・日 時 : 2012年9月7日(金)、8日(土)、9日(日)
  - ・会 場 : フェニックス・シーガイア・リゾート  
「シーガイアコンベンションセンター」(宮崎県宮崎市)
  - ・大 会 長 : 日野原 重明(日本音楽療法学会理事長)
  - ・実 行 委 員 長 : 山下 恵子(日本音楽療法学会評議員)
  - ・副 実 行 委 員 長 : 日高 まり子(宮崎音楽療法研究会会長)
  - ・事 務 局 長 : 越智 和雄(日本音楽療法学会事務局長)
  - ・大 会 テ ー マ : 「音楽・遊び・創造」
  - ・大 会 長 講 演 : 日野原 重明
  - ・記 念 講 演 : きたやま おさむ「遊びと創造性」
  - ・記 念 ミ ニ ト ーク : 米良 美一
  - ・特 別 座 談 会 : 松井 紀和、徳丸 吉彦、齋藤 考由、中島 恵子
  - ・ミ ュ ー ジ カ ル : こどもミュージカル「ぞうれっしやがやってきた」(宮崎学園短期大学)

◇ ◇ ◇ ◇

### 会員ボランティア募集のお知らせ(お願い)

上記大会期間中にボランティアとして大会運営にご協力を頂ける方を募集いたします。九州地区在住の会員の方で、ボランティアとしてご協力頂ける方は学会事務局までFAX(03-5401-0337)または書面でお知らせください。後日募集要項と申込書を送りいたします。

多くの方のご応募をお願い申し上げます。

## ■ 日本音楽療法学会 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会

委員長 加藤 美知子

2010年度の講習会では、「音楽療法の現場の獲得」と「音楽療法士の質の維持・向上のためのスーパービジョン」という、二つの大きな柱がありました。今回は第一日目に、音楽療法を取り巻く社会の状況についての知見を得るための企画を立てました。障害児・者支援の仕組み、および介護保険法の仕組みの両面にわたっての理解を深めていくのが狙いです。私たちの仕事をもっと大きな視点、そして社会の動きの中から見つめ直していきたいと考えています。

二日目は、昨年に続くスーパービジョンについての研修です。第2回目は、公開スーパービジョンと座談会が2会場/2領域に分かれて行われます。まずA会場では、比較的实践歴の浅いお二人のスーパービジョンを通して、セッション自体の方法、目標の設定方法、活動内容、進行や展開における配慮や工夫等、音楽療法士が現場で出会う具体的な課題や問題が素材として取り上げられることとなります。実践者として一緒に考えていくことで、新しい学びが必ずあるはずですよ。

一方のB会場では、実践歴の長い方をスーパーバイザーとしてお迎えし、音楽療法士として感じたこと、考えた事、また人間関係や対象者との気持ちなどに焦点を当てていきます。自分のセッションのスタイルがある程度できあがっている時期にこそ、改めて色々考えたいこと、振り返りたいことが出てくるのはよくあります。自分自身を振り返る、そして近い将来スーパービジョンを提供することを考えている方には是非参加していただきたい企画です。臨床経験の幅や領域を問わず、多くの方にご参加いただいで、よりよい音楽療法の将来を一緒に築いていきたいと切望しております。詳細は、12月にお送りする案内パンフレットをご参照ください。

2012年3月3日（土）

12:00	受付開始	
12:45~12:55	ガイダンス	研修・講習委員会 委員長：加藤 美知子 学会事務局長 : 越智 和雄
13:00~13:25	イントロダクション ~企画にあたって~	研修・講習委員会 委員：門間 陽子
13:30~15:30	「障害児・者福祉サービスの現状とこれから（仮）」 （障害者自立支援法と児童福祉法の理解）	大塚 晃（上智大学総合人間学部社会福祉学科教授 元厚生労働省障害福祉専門官）
15:45~17:45	「介護保険法の仕組みと認知症支援（仮）」 （介護保険法と高齢者支援の理解）	六角 僚子（東京工科大学医療保健学部看護学科教授 特定非営利活動法人認知症ケア研究所代表理事）
17:45~18:00	まとめ	研修・講習委員会 委員：門間 陽子

2012年3月4日（日）

08:30	受付開始	
09:00~09:10	ガイダンス	
09:15~10:45	A会場	B会場
	スーパービジョン①：高齢者領域 バイザー：小澤登美代（大泉学園デイサービスセンター 介護福祉士） バイザー：門間陽子（研修・講習会委員）	スーパービジョン①：障害児・者領域 バイザー：松本圭子（岩手県立盛岡青松支援学校） バイザー：高山仁（たかやま音楽療法研究所）
11:00~12:00	座談会 ~スーパービジョンとは（仮）~ 司会：西巻靖和（研修・講習会委員） 研修・講習委員会 委員	座談会 ~スーパービジョンとは（仮）~ 司会：後藤浩子（研修・講習会委員） 研修・講習委員会 委員
13:00~14:30	スーパービジョン②：障害児・者領域 バイザー：向井田のぞみ（ミュージックセラピー ぼこあ木の音） バイザー：吉村奈保子（東京国際音楽療法専門学院）	スーパービジョン②：高齢者領域 バイザー：池田憲治（介護老人保健施設フォレスト熊本） バイザー：廣川恵理（名古屋音楽大学）
	スーパービジョン：総括 司会：西巻靖和 小澤登美代/門間陽子/向井田のぞみ/ 吉村奈保子	スーパービジョン：総括 司会：後藤浩子 松本圭子/高山仁/池田憲治/廣川恵理

\*会場は、例年通り東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館です。なお、講師の都合により変更が生じることがありますことを、ご了承ください。



## ■ 第四回災害関連講習会のお知らせ ■

災害対策特別委員会

2011年6月5日（東京）、7月18日（仙台）、8月27日（盛岡）の三回にわたり災害関連講習会を開催しましたが、引き続きましてつぎの要領で第四回講習会を開催いたします。学会関連講習会として福島ではじめての開催となりますので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

1. 日 時：2011年11月20日（日）13：30～16：50 受付開始13：00～
2. 会 場：福島学院大学宮代キャンパス カーサ・フローラ 千葉記念ホール  
福島市宮代乳児池1-1 TEL 024-553-3221  
阿武隈急行線福島学院前駅下車  
または JR 福島駅から藤田方面行きバスで福島学院前徒歩3分
3. 講 師 他：大津留 晶（長崎大学病院永井記念国際ヒバクシャ医療センター副センター長、准教授）
4. 受 講 料：1,000円、学生500円（当日受付にて）
5. 申 込 方 法：日本音楽療法学会事務局へ文書でお申し込み下さい（FAX 03-5401-0337、手紙、葉書）  
（受付後、登録通知を送付します）。



## 第13回世界音楽療法大会 印象記

常任理事 二俣 泉

第13回世界音楽療法会議に参加いたしましたので、以下にその報告をいたします。

3年に1度開催される世界音楽療法会議の第13回大会が、2011年7月5日から9日まで、韓国ソウルの淑明女子大学で開催され、世界各国から約1300名を超える人が参加しました。日本からは、日本音楽療法学会企画のツアーに参加した30名を含め（私もその中の1人でした）、約130名が参加しました。

口頭発表124題、ポスター発表48題、ワークショップ32題、その他様々の発表や討議が行われました。多くの日本人音楽療法士の発表が採択され、その中には20代の若手日本人音楽療法士も発表をおこなっていて、大変頼もしいことであると感じました。

全体企画としては、毎朝2時間のスポットライト・セッション（毎回4名の講師による連続講演）が行なわれました。連続講演のテーマは、第1回は音楽療法と医療、第2回は音楽療法と特殊教育、第3回は音楽療法と高齢者、第4回は音楽療法と研究について、でした。講演者は、エビデンス・ベースの実践者と美的経験を重視する実践者、量的立場にたつ研究者と質的な立場にたつ研究者など、多様なスタンスの講演者が選ばれており、音楽療法に多様な立場が併存していることが実践と研究を豊かにしていることを再確認する機会となりました。

2日目の夕方には、野外での音楽演奏つきのパーティが開催されました。韓国料理を食べながら、韓国の迫力ある伝統音楽（踊りながら打楽器を演奏するサムルノリや、太鼓の演奏など）が披露され、アジアの音楽文化の豊かさを堪能する機

会となりました。

私が聞いた研究発表のひとつでは、英国の音楽療法士がインドネシアのガムラン音楽を活用した音楽療法の実践に取り組んだことを報告し、ガムランがいかに音楽療法実践に有用であるかが熱く語られていました。「『英国人による』アジアの資源を活用した音楽療法」についての発表を聴き、日本を含めアジアの音楽療法士たちが、アジア固有のユニークな資源をまだ十分に活用できていないことを改めて認識しました。自らの文化的資源を音楽療法実践に活用する術を考えていくことは、アジアの音楽療法士に課せられているひとつの「宿題」なのではないか、と思いました。

今回の会議の会期中、米国のジーン・アン・ベーレンス博士が、世界音楽療法連盟の災害対策委員に就任されたことが発表されました。そこで、加藤美知子先生（本学会常任理事・災害対策特別委員）が早速ベーレンス博士に交渉していただき、9日の朝、ベーレンス博士と本学会災害対策特別委員会メンバー（加藤美知子先生、鈴木暁子先生、門間陽子先生、吉村奈保子先生、二俣）とが集まり、東日本大震災被災者に対する音楽療法による支援に関するミーティングが実現しました。災害被災者支援に広範な経験と知識をお持ちのベーレンス博士から、今後の支援のための様々なアイデアをご提案いただきました。

5日間を通じて、すみずみまできめ細かい「もてなしの心」の行き届いた国際会議で、とても気持ちよく、かつ有意義な学びの時となりました。



ワークショップ



オープニングセレモニー



## 北海道支部 — 近況 —

支部長 久村 正也

全国の会員の皆様、こんにちは。北海道支部の近況報告です。

最初に、東日本大震災の惨状に会員一同、心から哀悼の意をささげ、お見舞いを申し上げます。一日も早い常態への復帰を念じております。

当支部は創立10周年を迎えました。会員数200余のミニ集団ですが、会員の活発な活動が誇りです。

今年度は5月22日に支部総会を開催し、前年度・今年度の運営収支の報告・予算案、事業予定などの承認を頂き、新たなスタートを切りました。同日開催された第19回研修会は、他支部からの発表者を含め100人に迫る参加者があり盛況の内に終了致しました。

研修会は春秋2回開催され、秋の研修会は10月30日（日）に開催しました。いずれも一般演題、特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなどを選択的に効率よく組み合わせ、質の高い内容を心掛けております。特記すべきは、音楽療法士に必要な医学知識、臨床心理学を学ぶ“医学ミニレクチュア講座”を設けていることで、会員から高い評価を頂いております。さらに、研修会を2日間制にしてより密度の高い研修・研鑽内容を求める会員の声も多く、来年5月には試行的に2日間の研修を行う予定であります。

また、会員相互間の連絡を密にする目的等を踏まえて、支部会員名簿の発行を計画しております。

今後とも北海道支部を宜しくお願い致します。



## 東北支部 — 近況 —

事務局長 渡邊 恵里

3. 11東日本大震災におきまして、引き続き学会の皆様から頂いている支援、そして応援のメッセージに心から感謝申し上げます。

震災の影響で、延期しておりました支部学術大会は下記のように研究発表を行わない規模を縮小した形で開催いたしました。

大会テーマ 「音楽療法—そこに在ること そこに関わること そこで分かちあうこと」

講師：近藤里美氏 北海道医療大学准教授

日時：2011年10月23日（日）

ランチテーブル 12：30～13：30（自由参加）

受付 13：30～14：00

基調講演 14：00～15：30

講習会 15：45～17：15

総会 17：30～18：30

場所：仙台市 情報・産業プラザセミナールーム（2）

仙台市青葉区中央1丁目3-1（AER6階）仙台駅隣接



## 関東支部 — 近況 —

事務局長 猪之良高明

第10回日本音楽療法学会関東支部 講習会・地方大会（神奈川）を2012年3月10日（土）～3月11日（日）の2日にわたり、東海大学高輪キャンパスにおいて開催いたします。「つながる・音楽あればこそ」を大会テーマに様々な企画で皆様をお迎えしたいと思います。

講習会は、大会テーマに沿って互いの仕事から学びあい、プロとしての絆を深められるように、「経験豊かな音楽療法士が語る専門職への道のり」「さまざまな対象者領域に応用できる3つの臨床アプローチ」にスポットを当て、対象領域別ではないアプローチを知り学ぶ場にしたく思っております。「3つの臨床アプローチ」は、大会シンポジウム「日本の音楽療法現場を支える多様な臨床のかたち」でも取り上げます。

東日本大震災からちょうど一年後にあたります地方大会では、「被災者のこころのケア」をテーマにした大会長講演を行います。また特別講演として、ピアニスト辻井伸行氏のお母様である、辻井いつ子氏を迎えお話いただきます。研究発表でも、地方会ならではの現場に即した新しい取り組みを予定しております。

なお、東日本大震災における被災地支援の一環として、東北支部会員を対象に今回の講習会・大会参加費免除をさせていただきます。詳細は、今後、関東支部ホームページに掲載されますのでご覧ください。また、関東支部会員のみならず他支部会員の参加も歓迎いたしますので、ぜひお越しください。

## 信越・北陸支部 — 近況 —

事務局長 小林 和子

信越・北陸支部第9回学術大会が2011年6月19日(日)に、海老原直邦氏(支部長)を大会長として、富山市の富山国際会議場 メインホールにて開催されました。

大会テーマを「音楽療法の可能性と未来—その社会的役割」として、支部総会の後、高岡西高等学校合唱部のみなさんからの美しいハーモニーが披露され、会場全体を埋め尽くす合唱の響きの美しさに、会場全体が酔いしれ、心が温まる時を持ちました。その後、湯川れい子氏(音楽評論家)より「だれもがたのしめる音楽力~音楽でもっと元気に幸せに~」を演題とすご講演をいただきました。笑いあり、関心・感動ある湯川れい子氏の講演に、音楽力の持つすばらしさを再確認した講演会でありました。支部会員および一般市民参加を合わせて、約600名のご参加をいただき盛大に終わることができました。

次回の支部第10回学術大会は、松田美穂氏を大会長として2012年6月17日(日)新潟市(朱鷺メッセ マリンホール)において開催予定です。

また、信越・北陸支部でお受けした、第11回日本音楽療法学会学術大会は、海老原直邦氏(支部長)を大会長として、2011年9月9日(金)~11日(日)、富山国際会議場・富山県民会館・オーバードホール・ANAクラウンプラザホテル富山の4つの施設を会場に、盛大に開催されました。4つの会場の分散型での開催でしたが、大会参加者約5000名(延べ人数)を、富山の伝統芸能「おわら」と「こきりこ」がお迎えし、各会場では、街なかコンサートが音を奏で、日野原重明先生100歳奉祝記念講演、大会長講演、マイケル・タウト氏(コロラド州立大学教授)の特別講演と盛りだくさんの内容で、熱い音楽療法への思いをそれぞれ語り合える場になりました。2年間に渡る準備期間と、5県に跨る当支部での開催は、役員会開催にも苦労しましたが、大変充実した時間と、支部として大変貴重な体験ができましたことをご報告させていただきます。



## 東海支部 — 近況 —

支部長 佐治 順子

東海支部では現在、主に、以下の3件のイベントが予定されています。

1. 第5回役員選挙を2011年10月31日(必着締切)に実施して、12月中には、第6期東海支部新役員(2012年4月~2014年3月任期)のメンバーが内定します。
2. 東海支部第3巻研究紀要を、寄稿論文と投稿論文の内容で、2012年1~2月に発刊します。
3. 東海支部第11回支部大会を、2012年4月15日(日)鈴鹿国際大学(三重県鈴鹿市郡山町663-222)にて開催いたします。午前中は、テンプル大学大学院音楽療法学主任教授 Dr. Cheryl Dileo 氏による「スーパーヴィジョンの受け方」と、高橋真喜子氏、穴戸幽香里氏、鶴飼久美子氏によるワークショップ研修会を、午後には、総会と基調講演、研究発表を実施します。支部会員外の皆さんも参加出来ますので、詳しくは支部HPをご覧ください。



## 近畿支部 — 近況 —

支部長 鈴木 暁子

近畿支部では2012年3月24日(土)・25日(日)に大阪総合保育大学にて、第10回近畿学術大会を開催いたします。大会実行委員会と支部教育研修委員会により着々と準備が進められています。会場は大阪市内の交通の便の良いところにあります。また保育士や幼稚園・小学校教諭の養成校という特徴を生かして、託児ルームも準備いたしております。他支部会員の方も歓迎いたしますので、どうぞご参加ください。詳細は近畿支部ホームページ(<http://www.jmtak.com/>)に掲載しておりますのでご覧ください。

また、2002年より発行しています『近畿音楽療法学会誌』はVOL.10を12月に発行する予定です。原著論文や事例研究、近畿学術大会講習会の内容、近畿支部活動記録のほか、第10号を記念して特別記事を掲載致します。東日本大震災への対応の報告、歴代支部長や研究誌編集委員長による支部学会誌創刊の思いや今後の支部学会誌に寄せる期待などの記事を掲載する予定です。購読をご希望の方は近畿支部事務局<[jmtak@guitar.ocn.ne.jp](mailto:jmtak@guitar.ocn.ne.jp)>までお問い合わせください。

## 中国支部 — 近況 —

支部長 武田千代美

中国支部は、去る5月14、15日の両日、島根県松江市の松江テルサにおいて、第11回中国支部大会、ならびに第18回支部講習会を開催いたしました。

今大会テーマを、「音楽療法とホスピタリティ・マインド」と掲げ、音楽療法を実践、研究する者として、自分自身や、周囲との人間関係について考え、また自分自身のコミュニケーション能力について考えることにしました。講師には、高塚人志先生をお迎えして、「ここから人と真剣に向き合うことの大切さ」と題してご講演いただきました。

講習会では、神経学的音楽療法について学ぶこととし、基本的な脳神経内科、脳科学の知識について、頼島敬先生に、またNMTの有用性と留意事項及び限界について、阿比留睦美先生にご講義いただきました。

開催に際しまして、ご協力を賜りました関係各位に深く御礼申し上げます。

ニューズレター23号は10月に発行予定です。支部ホームページもどうぞご覧ください。



## 四国支部 — 近況 —

支部長 板東 浩

四国支部の大会へどうぞ

2009年9月に松山市で開催された全国大会には、多数の方々においでいただき、誠にありがとうございました。有意義な時間となったでしょうか？

さて、四国支部では、年1回、支部大会を開催してきております。2011年度は、下記のように徳島市で開催します。関西から徳島への交通の便もよいことから、従来四国以外からの発表者も多く、全国の会員の皆様を歓迎いたします。

期日：2012年2月5日（日）：9時30分～16時30分

場所：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）（徳島駅から徒歩7分）

教育講演Ⅰ：村林 信行 先生「臨床医学からみた音楽療法への期待」

教育講演Ⅱ：野村 誠 先生「人との関わり、音との関わり、場との関わり」

A) 演題発表の募集：

申込：pianomed@bronze.ocn.ne.jp（メールのみ、板東） 1月10日（火）必着。

抄録：メールでご連絡頂ければ、抄録記入の要項を添付で送付します。A 4誌面1枚。

演題採択は1月17日までに通知し、メールで詳細を連絡。（大会長：板東浩）

B) 大会参加費：事前登録 会員・学生2000円（1月25日（水）締切）、当日3000円

申込：ゆうちょ銀行 記号 16320 番号 11187771

他金融機関からの振り込みの場合は

（店名）六三八（読み ロクサンハチ）

（店番）638（預金種目）普通預金（口座番号）1118777

宛先はどちらも日本音楽療法学会四国支部です。

学会HPの四国支部も合わせてご覧ください。



## 九州・沖縄支部 — 近況 —

事務局長 西林 淑子

九州・沖縄支部においては2011年7月18日（祝）に、宮崎のメディキット県民センターにおいて支部講習会を開催しました。今回の講習会は、「世界的研究機関の講師による打楽器や声の指導を中心とした様々な音楽を学ぶ」「音楽を創造する喜びや新たな自分との出会い、音楽を使ったコミュニケーションの手法を学ぶ」という内容で、モーツァルト芸術大学オルフ研究所講師である菅田真理先生、ディートマー・エダー先生のお二人をお迎えしての一日研修でした。あいにくの台風上陸と重なりましたが、参加者は九州各地と広島からも集まり、会場いっぱい広がってリズムと言葉、リズムと体の動きが一体となっていくのを感じながらの研修でした。

ただ、九州内といえども、宮崎への交通手段に時間がかかるとの意見もあり、来年の大会までに改善されるといいのですが。

続けて10月29日（土）にドイツよりザビーネ・リトナー先生をお招きして「歌唱の感覚性について—音楽療法における声の異議」という講演を中心に講習会をします。

九州にいながら海外から講師を招聘して研修できるまたとない機会を享受したいと思います。

※発行日の関係で文中各支部近況の催事が終了しているものがありますのでご了承下さい。



## 学会事務局からのお知らせ

### ■ 第13回日本音楽療法学会学術大会開催のお知らせ

---

- 日 時：2013年9月6日（金）・7日（土）・8日（日）
- 会 場：米子コンベンションセンター（鳥取県米子市）

\*大会案内は順次お知らせします。

### ■ 2011年度資格審査を申請された方へ

---

2011年10月14日までに提出された申請書につきまして現在審査中です。審査結果は11月末日までに通知されます。書類審査合格者は面接試験（実技を含む15分間、12月11日（日））が東京にて実施されます。なお、面接日時の変更はできませんのでご承知おきください。

最終審査結果は2012年2月初旬に通知されます。

### ■ 2011年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

---

2011年10月31日までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2012年2月初旬に通知されます。

### ■ 「音楽療法士認定規則（新版）」の発行について

---

「新認定制度」の制定に伴い、2010年9月1日に「音楽療法士認定規則（新版）」が発行されました。購入を希望される方は500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則（新版）請求」として学会事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）なお、返信用封筒は不要です。

※音楽療法士（補）の資格と海外の音楽療法士の認定資格を有する方を対象とする認定規則を制定中です。完成次第お知らせします。（2012年4月以降）

### ■ 「資格更新規則（申請書）」の取り寄せについて

---

500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「更新規則請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、返信用封筒は不要です。

※資格更新の該当の方には当該年度の5月上旬までに、更新規則を全員に事務局から送付しますので取り寄せは不要ですが、早くご入用の方は上記方法でお取り寄せください。

### ■ 「カリキュラムガイドライン11」の取り寄せについて

---

2011年4月1日に、新しくカリキュラムガイドライン11が制定されました。詳しくは学会ニュースP9をご覧ください。

会員の方は「カリキュラムガイドライン11請求」として学会事務局へお申し込みください。会員外の方は、120円切手を貼付した返信用封筒（B5サイズ、宛先明記）を同封の上お申し込みください。

### ■ 「抄録の書き方」のご購入について

---

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「抄録の書き方請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、返信用封筒は不要です。

## ■ 「音楽療法士（補）試験問題解説集」の取り寄せについて

---

2001年度から2010年度まで過去10回おこなわれました音楽療法士（補）認定試験の試験問題解説集が、年度別にそれぞれ発行されています。年度別の試験問題解説集は1冊1,000円です。

また、2001年度第1回から2005年度第5回までの5回分と、今年度新たに、2006年度第6回から2010年度第10回までの5回分の音楽療法士（補）試験問題解説集を1冊にまとめた合冊版が発行されています。合冊版は1冊2,000円です。

購入を希望される方は、希望の試験問題解説集の年度と冊数（合冊版を希望の場合はその旨）を明記の上で、冊数分の合計金額の郵便為替（郵便局にて購入）を同封して、学会事務局へお申し込みください。為替は金額に応じて、1,000円の定額為替を必要枚数購入されても、合計金額の額面で普通為替を1枚購入されても、どちらでも結構です。なお、返信用封筒は不要です。

## ■ 学会誌バックナンバーのご購入について

---

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌のバックナンバー購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社  
TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

## ■ 会費（年会費）納入のお願い

---

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2010年度分未納の方はこのまま放置されますと2012年3月末にて会費未納退会となります。この場合再入会はできません。

正会員	10,000円	学生会員	6,000円
購読会員	6,000円	賛助会員	50,000円／1口
払込先	郵便振替口座	○加入者名：日本音楽療法学会	
		○口座番号：00120-9-657711	

## ■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

---

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

## ■ 「団体総合保障保険」のご案内

---

例年どおり音楽療法士の業務保険を同封のパンフレットのとおりにご案内します。加入を希望される方はパンフレット綴じこみの「保険申込 FAX 連絡票」にて記載の期日までに事務局まで加入依頼書を請求してください。

この保険は日本音楽療法学会会員専用として特に設定したものです。加入者が少ないと廃止となりますので奮ってご加入いただきますようお願いいたします。

なおこの保険についてのお問い合わせは TEL044-200-9421のセントラル保険までお願いします。

## ■ お詫びと訂正

---

第11回日本音楽療法学会学術大会要旨集208ページにつき誤記がありました。お詫びを申し上げ謹んで訂正いたします。

誤 北川クリニック 院長 北川 吉明 → 正 北山クリニック 院長 北山 吉明

第11回日本音楽療法学会学術大会 講習会資料集の表紙および背表紙

誤 講演会資料集 → 正 講習会資料集

講習会資料集につきましては、参加の皆様にご訂正シールを、「講習会受講証明書」に同封してお送りしますので、お手数ですが貼付をお願いいたします。